

AI時代だからこそ 大切にしたい人権

便利さの向こうにいる「人」を忘れてない？



暮らしを豊かにする技術、その裏に潜む「落とし穴」

技術の進化(光)	新たな課題(影)
● AIによる文章・画像・動画の作成が誰でも簡単に！ ● SNSで誰もが情報発信し、世界中とつながれる！	● 偽画像・偽動画の拡散 本人の知らないところで勝手に作られ、広がってしまう。 ● 誹謗中傷とデマ 「匿名だから」と過激な発言をし、他人の名誉や人格を傷つける。 ● 消えない傷(デジタルタトゥー) 一度拡散した情報は消去が難しく、被害が長期間続く。

投稿する前、シェアする前に「ちょっと待って！」

- ☒ 本当に正しい情報ですか？（根拠のない情報や偽画像ではありませんか？）
- ☒ 誰かを傷つける内容になっていませんか？（感情的になっていませんか？）
- ☒ 自分にされたらどう思いますか？（投稿の先には、その言葉を受け取る誰かがいるのです。）

技術がどれほど進歩しても

「人を思いやる気持ち」や「相手の尊厳を大切にする心」は変わりません。
一人ひとりの心がけで、誰もが安心して利用できる優しいデジタル社会をつくりましょう。

宇陀市人権啓発活動推進本部

※このビラへのご意見・ご感想は

☎ 0745-82-2147 または jinken@city.uda.lg.jp

(2026.10)

毎月11日は「人権を確かめあう日」です